

News Release

4エレメント構成・ダイポール型リボンツイーター搭載の2ウェイ。 トランスミッションオーディオ スピーカー発売のご案内

このたび、オーディオリファレンスインクでは、スウェーデンに本拠地を置くトランスミッションオーディオ社のコンパクト2ウェイスピーカーM1iを発売いたします。

トランスミッションオーディオは、リボンスピーカー設計の第一人者であるポー・ベンクトソンにより設立された歴史あるスピーカーブランドです。今回発売いたしますM1iは、かのマーク・レビンソンのために手がけた、レッドローズミュージックのリファレンススピーカーR3を母体とし、その基本的なフォルムを継承しながら、新設計ドライバーユニットの搭載をはじめ、全面的なアップグレードを果たしたモデルとなっています。

10リッターサイズの小型エンクロージャーに、M1iのために開発・設計された12.5cmコーンウーファーを。また、前面バッフル上部の延長上には、後面開放となっている独自の4エレメント構成・ダイポール型リボンツイーターを搭載しています。

M1iは、これまでリボンスピーカーに指摘されてきた、低能率でアンプの負荷が重くなりやすい、十分な音圧レベルが確保しづらいなどの弱点がことごとく打破されており、リボンスピーカーでしか得られない美点が最大限に発揮されています。

そのパフォーマンスは、まさに“サイズを超えた音”そのもの。天使の羽根を思わせる軽やかさとふくよかさで、芳しい音楽の息吹をリスニングルームによみがえらせます。

M1i

コンパクト2ウェイスピーカー
希望小売価格609,000円（税込）
2本1組



〔M1iの主な特長〕

- リボンツイーターとコーンウーファーによるコンパクト2ウェイ
- ダイナミック・プロパルジョン技術を導入した
- 4エレメント構成・ダイポール型アルミリボンツイーター搭載
- E.J.ジョーダン社製12.5cmアルミコーンウーファー（TA100）搭載
- 10リッターサイズの小型・高剛性エンクロージャー

M1iは、米国のステレオフィイル誌で絶賛されたレッドローズミュージックのベビーリファレンスR3を母体としたスピーカーです。R3は、エンクロージャーの上部からフェイスを飛び出させるような形でリボンツイーターを搭載した2ウェイモデルで、M1iはこの基本的なフォルムを受け継ぎしながら、全面的なリファインメントが施されています。

ツイーターには、トランスミッションオーディオ独自のダイナミック・プロパルジョン（Dynamic Propulsion）技術から生まれた新型リボンユニットを搭載しています。アルミリボンは、R3の2エレメント構成から4エレメント構成へ、放射面積を2倍にしたことで、振幅ひずみを半減するとともにパワーハンドリングを倍増。同時に、組み合わせるアンプを選ばない、より高い感度と出力音圧レベルを実現しています。

このリボンツイーターでもっとも特長なことは、後面開放のダイポール型になっている点です。1本1本が強力なマグネットに支えられたアルミリボンからは、前面へはもちろん、後面へも遮られることなく音を放射。これにより、音の解像度と感度を飛躍的に高めることに成功しており、“コンパクトサイズにしては”という但し書きのない、広大かつボリューム感豊かなサウンドをリスニングルームに再現します。

リボン膜の全体が100%発音源となるメリットに加えて、4エレメント構成による放射面積の拡大は、良好なエアカップリングをも実現しています。空気への振動板抵抗が大きくなったことで、ウーファーに対して従来よりも低い周波数でクロスオーバーが可能。これにより、3kHz以上の帯域をリボンツイーターでフルにカバーしています。

ウーファーには、フルレンジユニット設計の父と謳われ、長くオーディオ界で活躍しているテッド・ジョーダン（Ted Jordan）率いる、E.J.ジョーダン社製の12.5cm径アルミコーンウーファーTA100を搭載しています。このユニットは、音響エネルギーを内部に溜めないことが重要という共通の認識に立って、最新の知識と技術が駆使されたユニットとなっています。

新設計の磁気回路に、新設計のボイスコイル・アッセンブリーを搭載したカスタム設計のアルミコーンウーファーとなっており、リニアリティーの高いレスポンス特性で、よりスピード感あふれるタイトな中低音域再生を可能にしています。

ネットワークには、クロスオーバー周波数を3.5kHzとした、1次バターワース型フィルターを搭載。ゆるやかなクロスオーバー特性としたことで、ウーファー・ツイーター間のシームレスな音のつながりを実現しています。

エンクロージャーには、強度を高めるとともに有害な振動を抑えるため、加速度テストによる振動解析を行った高剛性キャビネットを採用。ツイーターはウーファーと同一面、上部に延長された前面バッフル上にマウントされています。さらに、設置面積はR3よりも5%ほど小さくなっており、ホームシアター用途にも適した省スペースの設置が可能になっています。

なお、キャビネット仕上げは、和室にもマッチする清廉なホワイトメイプル。オプションにて、濃い木目調のローズウッドも用意されています。



M1iの母体となった
ベビーリファレンスR3を抱える
マーク・レビンソン氏



M1iのために開発・設計された
E.J.ジョーダン社製の
アルミコーンウーファーTA100

[M 1 i の主な仕様]

型式	: 2ウェイブックシェルフ型、リアバスレフ方式
使用ユニット	: 12.5cmアルミコーンウーファー、 4エレメント・アルミリボンツイーター
再生周波数特性	: 40Hz ~ 30kHz ± 2dB
公称インピーダンス	: 6
出力音圧レベル	: 87dB/W/m
クロスオーバー周波数	: 3.5kHz
許容入力	: 100W (最大) 250W (ピーク)
大きさ	: 195 (W) × 440 (H) × 240 (D) mm
質量	: 10kg

仕様は予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

[トランスミッションオーディオについて]

トランスミッションオーディオは、自らが設計者であるポー・ベンクトソン（Bo Bengtsson）によって設立された、三十年余の歴史を持つスウェーデンのスピーカーブランドです。自社を“ザ・リボンスピーカーカンパニー”と名乗るとおり、振動板の理想形とも言えるリボンユニットを最大の特長としています。最初の製品は1976年、リボンホーンを搭載したフロア型スピーカー「CM3」で、このモデルは12年間にわたり、累計2万4千台を出荷。1985年には身の丈を越える大型スピーカー「Megatrend」、その2年後には姉妹モデル「Athena」を発表するなど、欧米のオーディオファイルから高く評価されてきました。また、この間には、他社との協同プロジェクトも積極的に推進。アップサラ大学と組み、開発したクオード社のモニタースピーカーESL用のOTL管球アンプや、エレクトロラックス社と組んだPA用スピーカー「Centara Quadrant」の設計、そしてかのマーク・レビンソンが主宰するレッドローズミュージックへ参画、技術供与したリファレンススピーカー「R3」、「R1」など、数々の製品へと結実しました。現在、トランスミッションオーディオは、新時代のコンパクトスピーカー「M1i」をはじめ、「Megatrend」の系譜をひく大型モデル「M6」まで7モデルをラインアップ。今日、SACDなどの高音質ワイドレンジソースを楽しむオーディオシステムはもちろん、高画質HD DVD/ブルーレイを楽しむホームシアターシステムにも、リボンスピーカーはまさに絶好のモデルと賞されており、他に代えられない優れたサウンドパフォーマンスで多くの支持を集めています。

本リリースに関するお問い合わせは...

オーディオ リファレンス インク

東京都府中市西原町3-16-9 〒183-0046

TEL : 042-574-3185

FAX : 042-574-3186

E-mail : audioref@d6.dion.ne.jp

www.audiorefer.com